
【結果概要】

ふくしま共創チーム「ふくしまプライド調査部」による
輝く企業・地域調査（1回目）

輝く企業・地域調査(1回目)の実施状況について

8月25日～9月1日にかけて、人口減少下の浜通り・中通り・会津の各地域で輝き、今後の人口減少対策を考える上でモデルとなる取組を行う以下の6企業・地域の調査を実施した。

調査には、ふくしまプライド調査部（県内大学生等、企業・団体及び市町村の若手職員）及び各地域担当アドバイザーが参加した。

実施結果概要については別紙のとおり。また、今後10月には2回目の調査を実施する。

【福島市】
協三工業株式会社
(製造業)
オンリーワンの技術 企業

ひと しごと

【二本松市】
布沢集落・布沢の環境を守る会
(地域づくり)
棚田による地域振興 地域

暮らし 人の流れ

【喜多方市】
合資会社喜多の華酒造場
(酒造業)
女性杜氏・Uターン 企業

ひと しごと 人の流れ

【広野町】
株式会社大和田測量設計
(測量業)
ドローン測量 企業

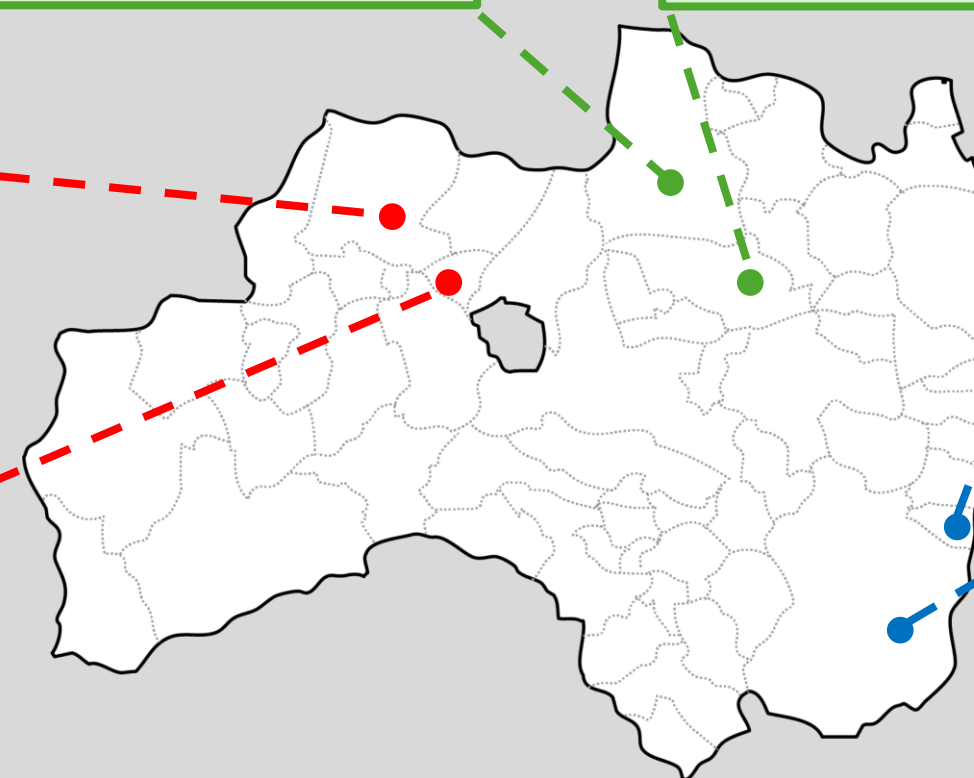
暮らし しごと

【磐梯町】
株式会社シグマ
(製造業)
世界を魅了する会津の技術 企業

暮らし しごと

【いわき市】
社会福祉法人 飛鳥
(サービス業)
外国人活躍 地域

ひと 暮らし 人の流れ



【結果概要】輝く企業・地域調査(1回目)中通り

実施日

令和8年8月25日(火)

参加者

計 21名 福島大学 4名 企業・団体 15名
市町村 1名 アドバイザー 1名(平井太郎氏)

調査先

協三工業株式会社(福島市)

スケジュール

- 9:30 挨拶・自己紹介
- 9:35 概要説明
- 9:45 現地調査
 - ・工場
 - ・台湾機関車、入換動車
- 10:35 休憩
- 10:45 ヒアリング調査
- 11:20 終了



調査部の主な気づき

輝きと要因

- ・蒸気機関車製造の国内唯一の技術
- ・取引先トラブルを乗り越え、H17年から第二創業として社内一丸で取り組む
- ・60歳を超えても給与水準が変わらない技術力を評価する制度
- ・専務、総務課長をはじめとする女性活躍、女性のきめ細かさを検査チームで発揮

将来の課題

- ・素晴らしい技術、取組が県民に十分に伝わっていない
- ・国内市場の縮小、受注数減による技術継承

今後の展望

- ・県内企業として、原発廃炉作業にも関わりの技術で今以上に貢献したい

調査先

布沢集落・布沢の環境を守る会
(二本松市)

スケジュール

- 14:00 挨拶・自己紹介
- 14:05 概要説明
- 14:20 現地調査
 - ・布沢の棚田
 - ・ビオトープ
- 15:00 桑茶のふるまい
- 15:10 ヒアリング調査
- 15:40 終了



調査部の主な気づき

輝きと要因

- ・農林水産省「つなぐ棚田遺産」に認定される美しい自然環境
- ・棚田オーナー制度や田んぼの学校など棚田を核とした関係人口の創出
- ・地元NPO法人をハブに、農家民宿が連携して就農体験を受入れ、農地や空き家の紹介を行い、地域外からの新規就農へ
- ・集落連携による持続可能な地域づくり

将来の課題

- ・兼業ニーズもあるため、布沢にしながらオンラインで働くことができる環境整備
- ・新規就農者はいるが平均年齢は70歳であり地域の魅力を若者に発信する必要がある

今後の展望

- ・若者に地域の魅力を届けるとともに、地域内のIT化を進め、若者に選ばれる環境を整備

【結果概要】輝く企業・地域調査(1回目)会津

実施日

令和8年8月27日(木)

参加者

計 13名 会津大学 3名 企業・団体 7名
市町村 2名 アドバイザー 1名(藤井靖史氏)

調査先

株式会社シグマ(磐梯町)

スケジュール

9:30 挨拶・自己紹介
9:40 概要説明
10:10 現地調査
11:10 ヒアリング調査
11:40 終了
終了後、社員食堂にて昼食



調査部の主な気づき

輝きと要因

- ・ Made in Aizuのレンズが世界中で利用
- ・ 本社と工場が近く、攻めた設計が可能
- ・ 専門技術を活かせる開発現場を有し、地元大学からの就職者も多い
- ・ 細やかな作業も多く、工場の7割が女性職員であり、トイレは女性用を増設したり、改修工事をするなど職場環境を整備

将来の課題

- ・ 磐梯町をはじめ、会津地域における若者が住みたくなるまちづくり
- ・ 少人数で生産性を向上させる省力化と技術継承

今後の展望

- ・ 高卒採用にも力を入れ、平均年齢を下げつつ作業の自動化も進め、人口減少下に対応

調査先

合資会社喜多の華酒造場
(喜多方市)

スケジュール

13:30 挨拶・自己紹介
13:40 概要説明
14:10 現地調査
・ 酒蔵見学 30分
・ 試飲 15分
14:55 ヒアリング調査
15:30 終了



調査部の主な気づき

輝きと要因

- ・ 全国新酒鑑評会での金賞受賞蔵
- ・ 夏の酒蔵案内や冬の日本酒製造の見学、市内12蔵と連携したまち歩き型の飲酒イベントなど、日本酒を核とした関係人口創出
- ・ 米農家との顔の見える関係

将来の課題

- ・ 交通や宿泊施設を整備し、イベント時等の飲酒機会を取りこぼさないこと
- ・ IT化やAI活用、キャッシュレス決済の活用

今後の展望

- ・ 日本酒の種類(低アルコールなど)、製造量を増やし、輸出の体制づくり
- ・ 雇用創出や喜多方に帰りたい人を増やすための情報発信強化

【結果概要】輝く企業・地域調査(1回目)浜通り

実施日

令和8年9月1日(火)

参加者

計 17名 福島高専 3名 企業・団体 10名
市町村 3名 アドバイザー 1名(佐藤桃香氏)

調査先

社会福祉法人飛鳥(いわき市)

スケジュール

- 9:30 挨拶・自己紹介
- 9:40 概要説明
- 10:10 現地調査
 - ・コミュニケーションによる生活支援 15分
 - ・施設見学 15分
- 10:40 ヒアリング調査
- 11:30 終了



調査部の主な気づき

輝きと要因

- ・人口減少下で外国人人材活躍(在籍22名)
- ・専門部署の海外人財事業室を立ち上げ、手続きや住居手配、買い物の生活面、言語や文化、資格取得の伴走など包括的に支援
- ・外国人人材の雇用により、業務の標準化、日本人スタッフの成長にもつながった
- ・職場の雰囲気明るくなった

将来の課題

- ・今後、国内で外国人人材の取り合いに
- ・優良な受入環境を可視化し、企業を認証する制度を導入し、初期費用の補助等
- ・外国人との日常的な交流機会の創出

今後の展望

- ・行政、企業、学生などあらゆる主体がゆるやかにつながる共生社会の実現

調査先

株式会社大和田測量設計(広野町)

スケジュール

- 14:00 挨拶・自己紹介
- 14:10 概要説明
- ～移動(データセンター→本社)～
- 14:50 現地調査
 - ・女性パイロットによるドローン操縦
 - ・データセンターとのリアルタイム接続
- 15:30 ヒアリング調査
- 16:00 終了



調査部の主な気づき

輝きと要因

- ・ドローン等の先端技術を活用した省力化
- ・新しいものの好きの会長が2000年にGISを導入したことが取組のきっかけ
- ・研究機関や高等教育機関と連携した技術開発
- ・情報システム課を有し、測量後のデータ加工まで自社で行うことが可能で、顧客ニーズにきめ細かに対応

将来の課題

- ・測量業界は人材不足
- ・少人数でも対応できるシステム構築
- ・多くの方がドローン等の先端技術に触れる機会の創出

今後の展望

- ・測量の先端技術と蓄積したデータを活用し、震災後に残る放射線の課題解決に測量面から貢献したい